

2022 年度第 1 四半期決算説明会

概要

日時：2022 年 7 月 29 日（金） 15：30～16：30

スピーカー：株式会社 WOWOW 代表取締役 社長執行役員 田中 晃（以下、田中）

取締役 常務執行役員 山本 均（以下、山本）

取締役 常務執行役員 尾上 純一（以下、尾上）

取締役 常務執行役員 郡司 誠致（以下、郡司）

内容

司会：それでは定刻になりましたので、株式会社WOWOW、2022 年度第 1 四半期決算発表を開催させていただきます。

本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。前回より、Zoom によるウェビナー形式の説明会とさせていただきます。

なお、本日の説明会の内容と質疑応答に関しては、外部機関を通じて弊社コーポレートサイトに全文書き起こしが掲載されますので、ご了承ください。また、説明会で使用する資料は、弊社 IR サイト、決算説明会資料のページに掲載しておりますので、ご覧ください。

弊社からのご説明が終わりましたら、画面下の手を挙げる機能を使用して音声にて質問を受け付けます。では、本日の出席者をご案内させていただきます。

代表取締役社長執行役員、田中晃、取締役 常務執行役員、山本均、取締役 常務執行役員、尾上純一取締役 常務執行役員、郡司誠致。以上、本日の出席者となります。

それでは田中より、2022 年度第 1 四半期決算ハイライトをご説明いたします。田中社長、よろしくお願いたします。

2022年4月～6月の主なトピックス

スポーツ

- 「UEFAチャンピオンズリーグ」2021-22シーズン決勝や「LPGA女子ゴルフツアー」「全仏オープンテニス」などを放送・配信。
- 伊達公子氏によるテニスジュニア育成プロジェクト『リポビタンPresents 伊達公子×YONEX PROJECT ～Go for the GRAND SLAM～』に参画

音楽

- BTSが出演した「第64回グラミー賞授賞式」やNCT 127初となる東京ドーム公演を放送・配信

ドラマ

- WOWOWとHBO Maxの日米共同制作ドラマ「TOKYO VICE」、連続ドラマW 松本清張「眼の壁」などのオリジナルドラマを放送・配信

イベント/映画

- 「FUJI&SUN」やオリジナル番組「INVITATION」と吉川晃司がコラボレーションしたイベント等を開催。いずれのイベントも7月に放送・配信
- 出資映画『PLAN75』が第75回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門でカメラドール特別表彰

©2022 WOWOW INC. | 3

田中：田中でございます。本日は決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。それでは、スライドの3ページをご覧ください。

第1四半期の主なトピックスをご紹介します。

まずスポーツでございますが、UEFAチャンピオンズリーグの決勝や全仏オープンテニスなどを放送・配信いたしました。全仏オープンでは、全豪オープンに続きまして、全試合・全コートの配信を実施いたしました。

また、伊達公子さんによるテニスのジュニア育成プロジェクトへ参画をいたしました。当社では伊達さんとともに、そしてテニスファンと一緒に、未来のスター選手たちの夢を後押しできるよう応援グッズの販売を実施して、その売上をジュニア選手の遠征費などに充当していきたいと考えております。

音楽では、BTSが出演した、第64回グラミー賞授賞式、あるいは世界的な人気グループNCT 127の初となる東京ドーム公演を放送・配信いたしました。

また、ドラマでは日米共同制作ドラマ「TOKYO VICE」を放送・配信し、大変多くの反響をいただきました。

また、イベントでは「FUJI&SUN」というキャンプフェスイベント、あるいはオリジナル番組「INVITATION」と吉川晃司さんがコラボレーションしたイベントを開催いたしました。いずれのイベントも7月に放送・配信も行いました。

WOWOW

もう一つ、出資映画『PLAN75』が第75回のカンヌ国際映画祭でカメラドール特別表彰を受賞いたしました。皆さんもニュースでご記憶あると思いますが、あの監督を務めました早川千絵さんは、過去に10年ほど当社の映画部に所属をしておりました。大変うれしく、誇らしく思っております。

加入

- 「UEFAチャンピオンズリーグ」2021-22シーズン 決勝、NCT 127、「第64回グラミー賞授賞式」などが好評を得たが、前年同期にあった大型スポーツコンテンツの放送・配信がなかったことの影響等により、新規加入件数は減少
- チャンピオンズリーグのシーズン終了など、目的番組の終了に伴い、解約件数が増加したこと等から、正味加入件数は純減

	2021年度1Q	2022年度1Q	前年同期差	前年同期比
新規加入件数	215	133	△82	62.0%
解約件数	177	207	29	116.4%
正味加入件数	38	△73	△111	—
累計正味加入件数	2,829	2,607	△222	92.2%

(単位:千件)

©2022 WOWOW INC. | 4

スライド4ページ、加入についてのハイライトでございます。2022年度第1四半期の新規加入件数は13万3千件、解約件数は20万7千件、正味加入件数は7万3千件の純減となりました。

当第1四半期は、サッカーやテニスなどのスポーツコンテンツや、先ほどお伝えしたNCT 127などの音楽ライブが好評を得ましたが、前年同期にあった大型スポーツコンテンツ、EURO2020™ サッカー欧州選手権の放送・配信がなかったことの影響などにより、新規加入件数は前年同期比では減少いたしました。

しかし、一昨年の2020年度と比べますと、第1四半期の新規加入件数の実績対比では約133%増となっております。

しかしながら、チャンピオンズリーグのシーズン終了など、目的番組の終了に伴いまして解約件数が増加したことなどから、正味加入件数は純減となりました。

収支（連結）

- 売上高は前年同期と比べ会員収入^{※1}が減少したこと等により減収
- 経常利益は前年同期にあった大型スポーツ番組への戦略的な費用投下がなかったこと等により、黒字に

(単位:百万円)

	2021年度1Q	2022年度1Q	前年同期差	前年同期比
売上高	19,968	19,337	△631	96.8%
経常利益	△322	1,111	1,434	—

※1 旧・有料放送収入。勘定科目名を変更

※2 それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2022 WOWOW INC. | 5

スライドの5ページ、収支のハイライトです。売上高は前年同期と比べ、会員収入が減少したことなどにより減収となりました。2022年度第1四半期より、従来使用していましたが有料放送収入を会員収入に名称変更いたします。会員サービスを基盤としたコンテンツコミュニティ業への変革に伴い、勘定科目名を変更いたしました。

経常利益は、前年同期にあった大型スポーツ番組への戦略的な費用投下等がなかったことなどにより、黒字となりました。

数字の詳細につきましては、経理担当の尾上から説明いたします。

2022年度第1四半期決算 加入状況

(単位:千件)

	2021年度1Q	2022年度1Q	前年同期比較	
			前年同期差	前年同期比
新規加入件数	215	133	△82	62.0%
解約件数	177	207	29	116.4%
正味加入件数	38	△73	△111	—
累計正味加入件数	2,829	2,607	△222	92.2%
内) 複数契約*1	393	372	△21	94.7%
内) 宿泊施設契約*2	75	78	3	103.8%

※1 同一契約者による2契約目と3契約目のデジタル契約に割引制度を適用(月額2,530円の視聴料金を990円に割引。金額は税込)

※2 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との個別契約

©2022 WOWOW INC. | 7

尾上: 経理 IR を担当しております、尾上です。14 ページの配当計画まで、私がお説明させていただきます。

まず、スライド 7 ページ、加入状況でございます。

2022 年度第 1 四半期の新規加入件数は 13 万 3 千件、前年同期と比べ 8 万 2 千件の減少。

解約件数は 20 万 7 千件、前年同期と比べ 2 万 9 千件の増加。

結果、正味加入件数は 7 万 3 千件の純減。前年同期と比べ 11 万 1 千件の減少となり、累計正味加入件数は 260 万 7 千件、前年同期と比べ 22 万 2 千件の減少となりました。

先ほどお説明した通り、前年 6 月に EURO2020™ サッカー欧州選手権があり、新規加入件数が大きく伸びたこと、解約はチャンピオンズリーグの 5 月でのシーズン終了など、目的番組終了により増加。結果、正味加入件数は前年同期に比べ減少いたしました。

2022年度第1四半期決算 収入状況（連結）

(単位:百万円)

	2021年度1Q		2022年度1Q		前年同期比較	
	実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
売上高	19,968	100.0%	19,337	100.0%	△631	96.8%
営業利益	△418	△2.1%	1,297	6.7%	1,715	—
経常利益	△322	△1.6%	1,111	5.8%	1,434	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△185	△0.9%	773	4.0%	958	—

※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2022 WOWOW INC. | 8

スライド 8 ページ、収支状況です。2022 年度第 1 四半期は、前年同期と比べ減収増益となりました。売上高は 193 億 37 百万円、前年同期に比べ 6 億 31 百万円の減収。経常利益は 11 億 11 百万円、前年同期に比べ 14 億 34 百万円の増益となりました。

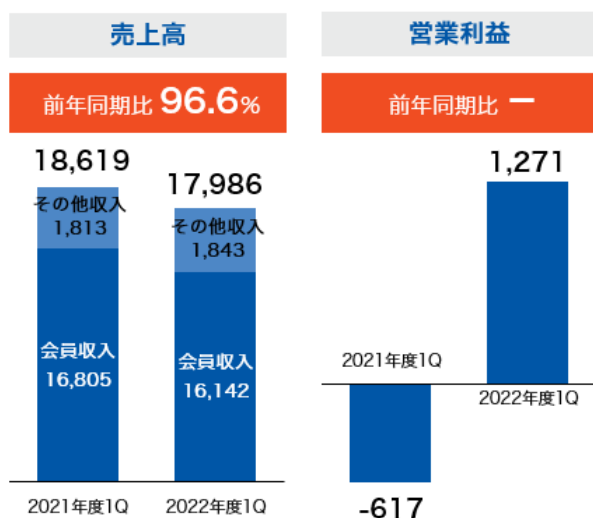
差異要因の詳細は、次ページ以降でご説明いたします。

セグメント別連結売上高/営業利益対比

WOWOW

メディア・コンテンツ

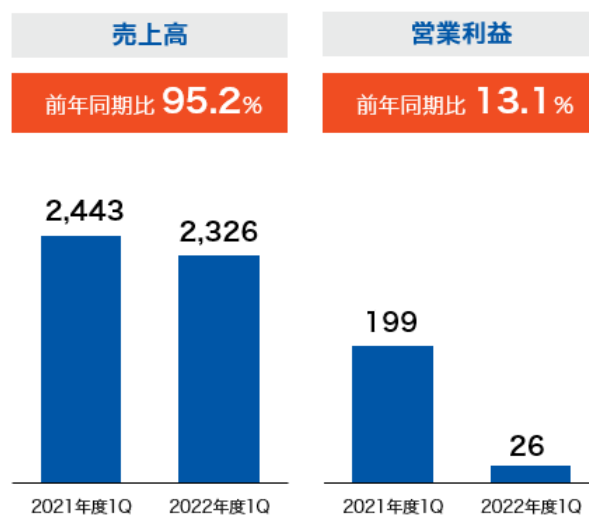
(単位:百万円)



※それぞれ百万円未満は切り捨てております。
 ※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

テレマーケティング

(単位:百万円)



©2022 WOWOW INC. | 9

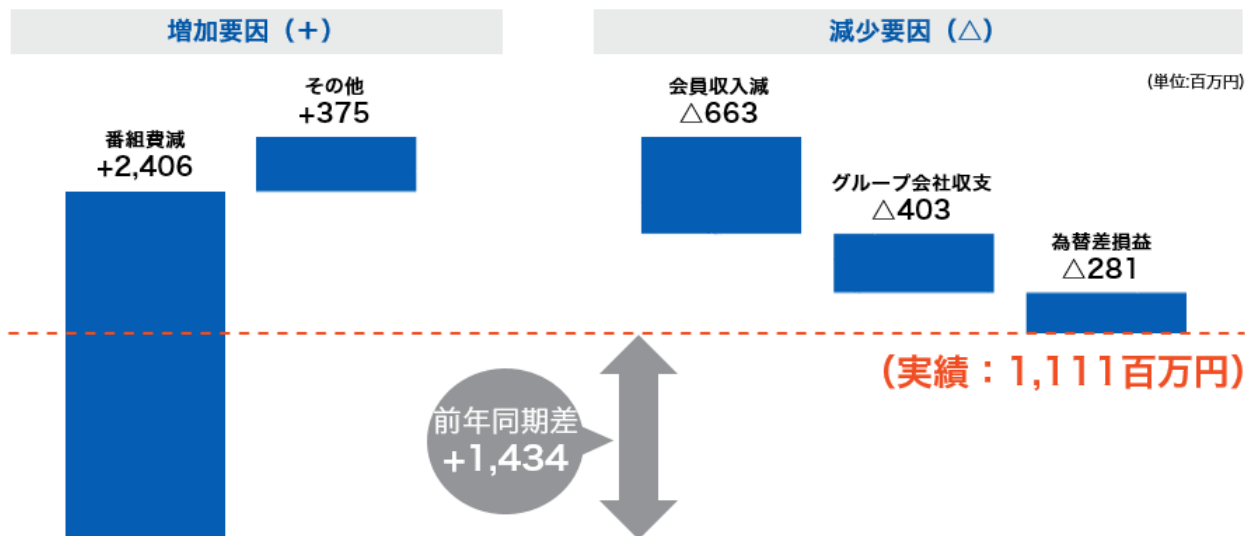
スライド9ページ、セグメント別の状況です。メディア・コンテンツセグメントは、主にお客様からの視聴料収入である会員収入が、売上高の多くを占めております。

売上高は、累計正味加入件数の減少の影響などにより、会員収入が前年同期と比べ6億63百万円の減収となったことなどから、前年同期と比べ6億32百万円の減収となりました。

営業利益は、前年同期にあった大型スポーツコンテンツの放送・配信がなかった影響などにより、前年同期と比べ18億89百万円の増益となりました。テレマーケティングセグメントは、連結子会社のWOWOWコミュニケーションズにおける事業となります。

グループの内部売上が減少したことなどにより、売上高は、前年同期に比べ1億17百万円の減収となりました。営業利益は、内部売上高の減少等に伴い、前年同期に比べ1億73百万円の減益となりました。

連結経常利益 前年同期との差異要因



※各要因の数値は前年同期との差異、“+”が増加要因。
それぞれ百万円未満は切り捨てております。

(前年同期実績：△322百万円)

©2022 WOWOW INC. | 10

スライド 10 ページ、連結経常利益の差異要因です。左側が利益の増加要因、右側が減少要因となります。

まず増加要因です。番組費が 24 億 6 百万円減少しております。詳細は次ページでご説明いたします。その他の項目は、主に販売促進費や広告宣伝費の減少などによるものです。

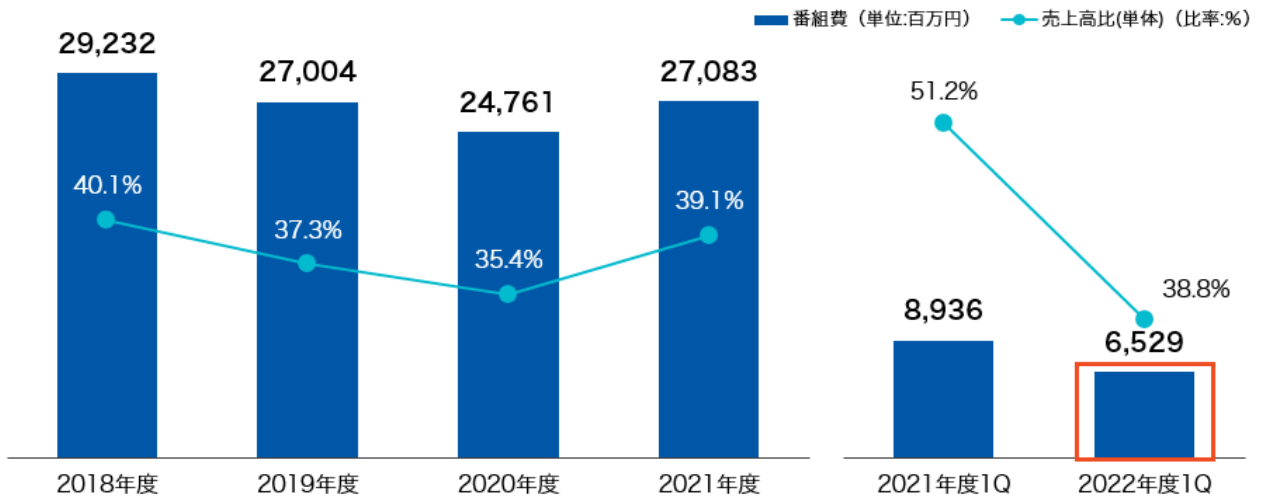
次に、減少要因です。会員収入が 6 億 63 百万円減少しております。グループ会社収支は、前年同期に比べ売上の減少や費用の先行投下等があったため、4 億 3 百万円の悪化となりました。

また、前期末以降、急激に円安に振れたため、前期末に計上していた外貨建買掛金の評価損が発生し、為替差損の計上となりました。為替予約を行うなど、為替変動のリスクヘッジは実施しておりますが、今回は買掛金の計上から予約までの間に急激に円安が進んだことで、差損の計上となりました。

番組費の推移

前年同期は大型スポーツコンテンツを放送・配信

(単位:百万円)



※数値はすべて単体
※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2022 WOWOW INC. | 11

スライド 11 ページ、番組費の推移です。前年同期には EURO2020™ サッカー欧州選手権といった大型スポーツコンテンツや、開局 30 周年記念のオリジナルドラマなどの放送・配信があったことなどにより、前年同期と比べて 24 億 6 百万円減少いたしました。

2022年度、2023年度 加入計画 (2022年5月13日公表値)

WOWOW

(単位:千件)

	2021年度 実績	2022年度 計画	前期比較		2023年度 計画
			前期差	前期比	
新規加入件数	612	580	△32	94.8%	
解約件数	723	630	△93	87.1%	
正味加入件数	△111	△50	61	—	—
累計正味加入 件数	2,680	2,630	△50	98.1%	2,630

©2022 WOWOW INC. | 12

スライド 12 ページ、加入計画です。ご覧の数字は5月の公表値から変更ございません。第1四半期の時点で、正味加入件数はマイナス約7万件と、計画のマイナス5万件を約2万件オーバーしておりますが、計画では、第1四半期にサッカーや音楽コンテンツ終了による解約が、ある程度発生するということは想定しておりました。

今後9月にはチャンピオンズリーグの新シーズン、また全米オープンテニスが始まるなど、WOWOW独占のスポーツコンテンツが始まります。目的番組終了で解約されたお客様に戻っていただけるようプロモーションを充実し、またコミュニティ施策の実施などを通じて、継続加入にもつなげてまいります。

2022年度 収支計画(連結) (2022年5月13日公表値)

(単位:百万円)

	2021年度実績		2022年度計画		前期比較	
	実績	収入比	計画	収入比	前期差	前期
売上高	79,657	100.0%	76,500	100.0%	△3,157	96.0%
営業利益	5,268	6.6%	2,300	3.0%	△2,968	43.7%
経常利益	5,349	6.7%	2,500	3.3%	△2,849	46.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,239	5.3%	1,600	2.1%	△2,639	37.7%

※番組費：単体の売上高比として約38.0%を見込む(2022年度 単体売上高予想：66,700百万円)
 ※想定為替レート：1ドル125円 ※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

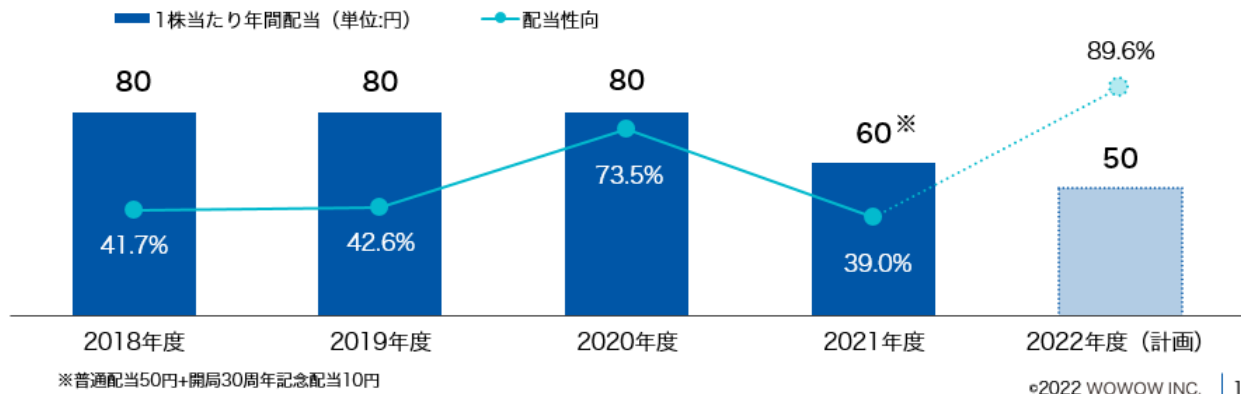
©2022 WOWOW INC. | 13

スライド 13 ページ、22 年度収支計画です。こちら 5 月の公表値と変更ございません。連結の経常利益 25 億円を目指してまいります。

配当方針

各事業年度の業績、財務体質の強化、中長期事業戦略などを総合的に勘案して、内部留保の充実を図りつつ、継続的に安定的な配当を目指しております。

5カ年配当推移/配当性向



スライド 14 ページ、配当計画です。こちらも 5 月の公表値と変更ございません。1 株当たりの配当 50 円を計画しております。

私からの説明は以上となります。

司会：続きまして、今後の取組みについてご説明いたします。

田中：WOWOWオンデマンド、これを今月 27 日リニューアルオープンいたしました。

最初に、こちらについて、担当の郡司取締役からご説明をさせていただきます。郡司さんよろしく。



©2022 WOWOW INC. | 16

郡司：担当の郡司です。よろしくお願いいたします。

スライド 16 ページをご覧ください。新たに UI・UX を刷新したWOWOWオンデマンドを 27 日にローンチいたしました。

主なリニューアルのポイントについて、次ページでご紹介いたします。

1.スポーツジャンルの見せ方の工夫

コンテンツ数が最も多いスポーツは、競技、大会ごとにページを設けたほか、サムネイルも新規に作成し、より見やすく、探しやすくした。ライブ中の競技はトップページ等で表示し、見逃さない工夫も。

大会ごとのページ設置

ライブ中の競技の表示

全番組に
タイトルロゴをいれて
キービジュアル化

©2022 WOWOW INC. | 17

スライド 17 ページです。一つ目のポイントは、お客様にとって、より分かりやすく使いやすい画面設計に変更しました。

特に、コンテンツ数が最も多いスポーツは、競技、大会ごとにページを設け、サムネイルも新規に作成。ライブ配信中の競技はトップページ等で表示し、見逃さない工夫も行うなど、お客様がより見やすく、よりコンテンツを探しやすく刷新しました。

2.WOWOWオンデマンド独自の特集

多様なジャンルのコンテンツを有していることを活かし、映画やドラマなど、ジャンルミックスした特集をWOWOWオンデマンド独自で実施。また、何を見ていいかわからないお客さまにも、気軽にコンテンツをご覧いただくために、「おすすめ」メニューを作成



3.その他追加機能等

- チャット機能
- ダウンロード機能
- バックグラウンド再生
- 自動Picture-in-Picture再生
- プッシュ通知、メール配信
- キャスト、スタッフごとの作品検索
- 画質向上など

©2022 WOWOW INC. | 18

スライド 18 ページです。二つ目は、お客様に目的番組以外のコンテンツも視聴していただくための取組みです。

当社の強みである多様なジャンルのコンテンツを有していることを活かし、映画やドラマなどジャンルミックスした特集をWOWOWオンデマンド独自で行います。また、何を見ていいかわからないお客様にも、気軽にコンテンツをご覧いただくために、おすすめのメニューを作りました。

さらに、チャット機能やコンテンツのダウンロード機能、バックグラウンド再生機能を搭載。また、画質の向上なども行いました。今後、2022年度中には、TVOD をスタートするほか、新たな楽しみ方の提案につながるような機能を追加予定です。

例えば、スポーツなどのライブ配信中に、ハイライトや選手データがリアルタイムで表示できるような機能を検討しております。このような取組みを通じて、WOWOWオンデマンドに触れていただく時間を増やすことで満足度を上げ、加入継続率の向上につなげてまいります。

7月27日(水)より、Panasonic 4Kテレビ「ビエラ」に対応

テレビデバイス対応状況

AQUOS

BRAVIA

Google Chromecast

Amazon FireTV

J:COM

FUNAI/FireTV

KDDI ケーブルプラス STB-2



新規対応



対応機器の詳細はWOWOWオンデマンドのサービス概要ページをご覧ください
<https://www.wowow.co.jp/wod/info/>

©2022 WOWOW INC. | 19

スライド 19 ページです。さらにWOWOWオンデマンドは、テレビデバイスの対応機器の拡張も順次進めております。シャープやソニー等のスマートテレビにWOWOWオンデマンドのアプリが搭載されておりますが、新たに7月27日から、2017年以降に発売したパナソニックの4Kテレビ「ビエラ」がWOWOWオンデマンドに対応いたしました。

2022年度中には、さらに未対応のメーカーのテレビ機種に、WOWOWオンデマンドを搭載することを目指してまいります。私からは以上です。

全米オープンテニスで錦織 圭選手が復帰予定

WOWOW



全米オープンテニス

8月29日(月)～9月12日(月)連日生中継[第1日無料放送]

WOWOWオンデマンドおよび
WOWOWテニスワールドで
全試合・全コートのライブ配信を実施

© AFP/ルネ・ジョコビッチ、大塚由紀夫、ロブ・カリス、ロバート・ジェフ、エドワード・ゲティ Getty Images、藤原まこと、ロブ・カリス、ロブ・カリス



欧州サッカー UEFA チャンピオンズリーグ 2022-23シーズン

プレーオフ 8月17日(水)スタート
グループステージ 9月7日(水)スタート
グループステージ毎節10試合生放送
※9月7日(水)、8日(木)を除く
決勝トーナメント全試合生放送
グループステージ～決勝まで
全125試合 独占ライブ配信

Getty Images



畑岡・笹生・古江・渋野ら 出場予定! LPGA女子ゴルフツアー メジャー 全英AIG 女子オープン

8月4日(木)～7日(日)
連日生中継[大会第1日無料放送]

Getty Images/ロバート・ゲティ、ロビンソン・マコーラス、ロバート・ゲティ、ロバート・ゲティ、ロバート・ゲティ、ロバート・ゲティ、ロバート・ゲティ

©2022 WOWOW INC. | 20

田中：新たなWOWOWオンデマンドについてご説明いたしました。ありがたいことに、お客様からも大変サポーターティブなご意見を頂戴しているところでございます。

私からは、その他のコンテンツについて補足をさせていただきます。

スライドの20ページをご覧ください。当社での放送開始から30周年となります「全米オープンテニス」が8月からスタートいたします。注目は、何と云っても、今年1月に受けた手術からリハビリを重ねて復帰を目指している錦織圭選手の出場です。

錦織選手は、8月20日から開催される全米オープンテニスの前哨戦「ウィンストン・セーラム・オープン」で復帰の予定でございます。錦織選手は10カ月ぶりとなる復帰戦となり、活躍に大変期待をいたします。

また「全米オープンテニス」は、WOWOWオンデマンドおよびWOWOWテニスワールドで、全試合・全コートのライブ配信、また男女シングルの決勝を4Kにても生中継で実施いたします。

ブロードウェイミュージカルの日本版制作を初プロデュース

WOWOW



ブロードウェイミュージカル『ジャニス』

8月23日(火)、25日(木)、26日(金)

ジャニス・ジョプリン: アイナ・ジ・エンド

アレサ・フランクリン: UA

ニーナ・シモン / ブルース・シンガー / ジョプリナーズ: 浦嶋りんこ

オデッタ / ベッシー・スミス: 藤原さくら

エタ・ジェームス: 長屋晴子(緑黄色社会)

総合プロデューサー: 亀田誠治

会場: 東京国際フォーラム ホールA

左から 舞臺劇作家兼演出家UA、アイナ・ジ・エンド、藤原さくら、長屋晴子、浦嶋りんこ Photographed by Lucie Kuo



映画『アキラとあきら』

8月26日(金)
全国東宝系にて公開

©2022アキラとあきら製作委員会



吉田羊 Night Spectacles The Parallel ~ウタウヒツジ~ 25th Anniversary Special

9月22日(木)、23日(金・祝)
会場: Billboard Live TOKYO

Photo: Kazumi Iwagami / Design: Kazuo Kasai

©2022 WOWOW INC. | 21

スライド 21 ページです。これまで「トニー賞授賞式」や、オリジナル番組「グリーン&ブラックス」、あるいは「WOWOWミュージカルラウンジ」といったコミュニティ・サービスなど、WOWOWはミュージカルの分野に注力をしてまいりました。

この度、初めてブロードウェイミュージカルの日本版制作をプロデュースすることになりました。このブロードウェイミュージカル「ジャニス」は、アメリカの音楽史を塗り替えた伝説のロックスター、あのジャニス・ジョプリンの亡くなる1週間前の一夜のコンサートをコンセプトに、その音楽人生を舞台化して、ブロードウェイで上演されたものです。

ジャニス役は、BiSHのメンバーとしても活躍するアイナ・ジ・エンドさんが演じます。お配りの資料に記載の通り、総合プロデューサーに亀田誠治さんを迎え、大変豪華なミュージシャンがそろって出演する、これまでにないタイプのミュージカルでございます。どうぞご期待ください。

また、映画です。2017年に連続ドラマWとして放送した「アキラとあきら」、これをキャストなどを変更しまして映画化いたしました。8月26日からの劇場公開に合わせて、池井戸潤さんの原作ドラマと映画を当社で特集をいたします。

申し添えますと、10月には池井戸潤さん原作「シャイロックの子供たち」を、連続ドラマWとして放送・配信することが決定いたしました。こちらの主演は井ノ原快彦さんです。

また、新たな試みとしまして、俳優によるコンサート「Night Spectacles」というシリーズを9月よりスタートします。このシリーズの第1弾は、2022年でデビュー25周年を迎えた吉田羊さんで

す。吉田羊さんのコンサートを楽しんでいただきたいと思います。

司会：私どもからのご説明は、以上となります。

質疑応答

司会：これから質疑応答に移らせていただきます。

それでは、ご質問をお受けいたします。よろしくお願いいたします。

いかがでしょうか。ご質問がないようでございますので、よろしいでしょうか。それでは、質疑応答を終了とさせていただきます。

それでは最後に、田中社長、一言お願いいたします。

田中：本日は、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。日本中でコロナウイルスが猛威を振るっております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。当社の社員や従業員にも当然感染が広がっておりまして、注意をしているところでございます。

幸いに放送事業に影響はありませんけれども、一部事業活動に影響が出ております。まさに今週予定をしておりました「ディズニー・ブロードウェイ・ヒッツ」というミュージカルイベント、当社の主催でございましたけれども、主演のアラン・メンケンさんがコロナ陽性となって来日できず、やむなく延期の発表をさせていただいたところでございます。

それ以外にも、当社が収録業務を請け負っているイベントが複数中止になっております。今後、先ほどお知らせもしました、当社の主催のイベントも次々あるところで、そういったところに影響が出ないかと懸念をしているところでございます。

どうぞ引き続きご支援を賜りたいと思います。本日はありがとうございました。

司会：以上をもちまして、2022年度第1四半期決算発表を終了させていただきます。本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。

以上